

# 社会学研究科

## 社会学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

- 以下の事項は「**研究科共通ページ**」を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

- 出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

2019

CHUKYO UNIVERSITY

# 1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）*	入学定員
社会学	社会学	博士前期（修士）	一般・留学生選抜	5名
		博士後期	一般・留学生選抜	2名

※…同一日程における複数の試験区分の併願不可。

# 2. 出願資格

## 博士前期（修士）課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者</li> <li>②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者</li> <li>③外国において学校教育における16年の課程を修了した者</li> <li>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</li> <li>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</li> <li>⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</li> <li>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</li> <li>⑧文部科学大臣の指定した者</li> <li>⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者</li> <li>⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者</li> </ul> <p><b>【出願資格審査について】</b>            出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに学部大学院事務課までお問い合わせください。            対象者（例）…飛び入学による出願希望者                              短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者                              外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者</li> </ul>

## 博士後期課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者            ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者            ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者            ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者            ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者            ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者            ⑦文部科学大臣の指定した者            ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者</p> <p><b>【出願資格審査について】</b>            出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>
留学生選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者</p>

## 3. 入試日程一覧

日程	課程	試験区分	出願期間 <sup>※2</sup> 最終日 消印有効	試験日	合否通知 発送日	入学手続締切日 <sup>※3</sup> 消印有効	入学辞退 手続締切日 必着
前期日程	博士前期 (修士)	一般 留学生	2018年 8月27日(月) ) 9月7日(金)	2018年 9月29日(土)	2018年 10月9日(火)	【第一次入学手続】 2018年 10月16日(火) 【最終入学手続】 2019年 3月13日(水)	2019年 3月31日(日)
	博士前期 (修士)	一般 留学生	2019年 1月7日(月) ) 1月16日(水)	2019年 2月9日(土)	2019年 2月19日(火)	【入学手続】 2019年 3月13日(水)	
後期日程	博士後期 <sup>※1</sup>	一般 留学生					

※1…博士後期課程は後期日程のみ実施。

※2…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教育学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。  
 外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教育学部大学院事務課に相談すること。

※3…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ  
 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付  
 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

出願する前に、指導を希望する教員に連絡を取ることが望ましい。

## 4. 選抜方法

### 博士前期（修士）課程

①当日の試験（筆記試験・口頭試問）、②論文又はこれに代わる業績を記す書類、③出身大学の成績、④その他出願書類（研究計画の内容を重視） によって行います。

### 博士後期課程

①当日の試験（筆記試験・口頭試問）、②論文又はこれに代わる業績を記す書類、③出身大学院の成績、④その他出願書類（研究計画の内容を重視） によって行います。

## 5. 試験科目・時間等

### 博士前期（修士）課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
社会学	一般	10:00 } 11:20	英語（英文読解） ・英和辞典・日本語辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		11:40 } 13:00	社会学
		14:00* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。
	留学生	10:00 } 11:20	英語（英文読解）又は日本語 ・英語（英文読解）又は日本語から1科目を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・英和辞典・日本語辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		11:40 } 13:00	社会学
		14:00* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

### 博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
社会学	一般	10:00 } 11:20	英語 ・英和辞典・日本語辞典持込可（電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		12:30* }	口頭試問 ・提出論文及び研究計画を中心とする。

専攻	試験区分	試験時間	試験科目
社会学	留学生	10:00 }\n11:20	<b>英語又は日本語</b> ・英語又は日本語から1科目を出願時に申請し(志願書に記入)、その科目を受験すること(試験当日の変更は不可)。 ・英和辞典・日本語辞典持込可(電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可)。
		12:30* }	<b>口頭試問</b> ・提出論文及び研究計画を中心とする。

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

## 6. 試験当日集合場所・時間

豊田キャンパス9号館1階 ロビー 9:30集合

## 7. 出願書類

### 【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③外国語で記載された書類(卒業証明書・成績証明書等)には日本語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験票に342円分の切手を貼付すること。</li> <li>・写真(正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影)の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。</li> <li>・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書(願書貼付用)を検定料払込票の所定欄に貼付すること。</li> </ul>
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。</li> </ul>
志願書 【巻末書類】	<ol style="list-style-type: none"> <li>①巻末「社会学・志願書」を使用すること。</li> <li>②「志望指導教員名」欄は、後掲「教員組織」を参照の上、選択し記入すること。 ※出願する前に、指導を希望する教員に連絡をとることが望ましい。</li> <li>③「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。</li> <li>④「修士論文又は卒業論文」欄には、博士前期(修士)課程修了者は修士論文について、学部卒業者は卒業論文について、その題目と概要を記入すること(作成途中の場合は予定を記入)。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。卒業論文を作成していない場合はその旨を記入。</li> <li>⑤「入学後の研究計画案」欄は、博士前期(修士)課程志願者は、研究計画や研究したい内容を400~500字程度にまとめて記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。 ※博士後期課程志願者は、後掲「研究計画書」の指示に従い別紙にて提出すること。</li> </ol>
卒業証明書 (含見込)	<p>〈博士前期(修士)課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終出身大学作成のものを提出すること。</li> <li>※大学院を修了した者(含見込)は、その修了(見込)証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。</li> </ul>
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終出身大学院作成のものを提出すること。</li> </ul>

書類名称	詳細
成績証明書	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終出身大学作成のものを提出すること。</li> <li>※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。</li> </ul> <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終出身大学院作成のものを提出すること。</li> </ul>
研究計画書	<p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科で研究したい分野、方法、受けたい指導について記入すること。</li> <li>・書式自由、2,000字程度。</li> </ul>
論文	<p>〈博士前期（修士）課程志願者〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①卒業論文又はこれに代わる論文のコピー（卒業論文が数年前のものである場合は、両方提出可）。 ※論文内容は、本研究科の専攻内容と著しく関係を欠かないものであること。 ※卒業論文に代わる論文の場合、その論文は16,000字前後にまとめたものに限る。</li> <li>②上記①の提出論文には要約を付すこと（1,200～2,000字）。</li> <li>③外国語による卒業論文又はこれに代わる論文は、日本語で8,000字程度にまとめた文を添付すること。この場合、上記②の要約は不要。</li> <li>④前期日程志願者のうち、2019年3月卒業見込で卒業論文未完の者は、その論文の概要（2,000字以上）を提出することで、上記の論文に代えることができる。</li> <li>⑤外国人留学生志願者の場合も、①～④と同様に対応すること。</li> <li>⑥提出論文は、原則として返却しない。</li> </ol> <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①修士論文又はこれに代わる論文のコピー（修士論文が数年前のものである場合は、両方提出可）。 ※論文内容は、本研究科の専攻内容と著しく関係を欠かないものであること。 ※修士論文に代わる論文の場合、その論文は16,000字前後にまとめたものに限る。</li> <li>②上記①の提出論文には要約を付すこと（1,200～2,000字）。</li> <li>③外国語による修士論文又はこれに代わる論文は、日本語で16,000字程度にまとめた文を添付すること。この場合、上記②の要約は不要。</li> <li>④外国人留学生志願者の場合も、①～③と同様に対応すること。</li> <li>⑤提出論文は、原則として返却しない。</li> </ol>
戸籍抄本等	<p>〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。</li> </ul>

## 以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
日本語の学力に関する書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の学力を客観的に証明できる者（指導教員等）が作成・発行した成績証明書を提出すること。</li> <li>さらに、次の①②に該当する者は指定する書類を提出すること。</li> <li>※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。</li> <li>①「日本語能力試験N1レベル又は1級」を受験した者は、成績証明書を必ず提出。</li> <li>②「日本留学試験」を受験した者は、受験票を必ず提出（本学が日本学生支援機構へ成績照会が可能な回のうち本人が「日本語」の成績照会を希望する回のもの）。</li> </ul>
住民票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前3カ月以内に発行されたものを提出すること。</li> <li>※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。</li> <li>※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。</li> </ul>
身元保証書【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>巻末—身元保証書</b>を使用すること。</li> <li>※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。</li> <li>※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。</li> </ul>
パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔写真のページのコピーを提出すること。</li> </ul>



# 8. 教員組織

## 社会学研究科長 野口典子

博士前期課程 (修士課程)	専任教授	野口典子	ソーシャルケア論A・B特殊講義・演習
	専任教授	斉藤尚文	社会人類学A・B特殊講義・演習
	専任教授	加藤晴明	メディア社会論A・B特殊講義・演習
	専任教授	小木曾洋司	地域社会学A・B特殊講義・演習
	専任教授	亀山俊朗	社会思想史A・B特殊講義・演習
	専任教授	辻井正次	社会臨床心理学A・B特殊講義・演習
	専任教授	亀井哲也	博物館人類学A・B特殊講義・演習
	専任教授	大岡頼光	福祉社会学A・B特殊講義・演習
	専任教授	成元哲	環境・健康社会学A・B特殊講義・演習
	専任教授	松田茂樹	家族社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	芦川晋	理論社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	伊藤葉子	ソーシャルワーク論A・B特殊講義・演習
	専任准教授	松谷満	文化社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	岡部真由美	文化人類学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	相澤真一	社会史・歴史社会学A・B特殊講義・演習
	専任准教授	中原純	社会統計学A・B特殊講義・演習
専任准教授	森田次朗	教育社会学A・B特殊講義・演習	

博士後期課程	専任教授	野口典子	ソーシャルケア論A・B・演習
	専任教授	斉藤尚文	社会人類学A・B・演習
	専任教授	加藤晴明	メディア社会論A・B・演習
	専任教授	小木曾洋司	地域社会学A・B・演習
	専任教授	亀山俊朗	社会思想史A・B・演習
	専任教授	辻井正次	社会臨床心理学A・B・演習
	専任教授	亀井哲也	博物館人類学A・B・演習
	専任教授	大岡頼光	福祉社会学A・B・演習
	専任教授	成元哲	環境・健康社会学A・B・演習
	専任教授	松田茂樹	家族社会学A・B・演習
	専任准教授	芦川晋	理論社会学A・B・演習
	専任准教授	伊藤葉子	ソーシャルワーク論A・B・演習
	専任准教授	松谷満	文化社会学A・B・演習
	専任准教授	岡部真由美	文化人類学A・B・演習
	専任准教授	相澤真一	社会史・歴史社会学A・B・演習
	専任准教授	中原純	社会統計学A・B・演習
専任准教授	森田次朗	教育社会学A・B・演習	

※上記は2018年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。